

岡山県感染症週報

2011 年 第 35 週（8 月 29 日～ 9 月 4 日）

岡山県では『腸管出血性大腸菌感染症注意報』発令中です。

台風 12 号により被災されたみなさまには、心よりお見舞い申し上げます。
浸水のあった地域では、感染症が発生しやすい状態が考えられます。手洗いやうがい・消毒を行うなど、感染予防を心がけて下さい。

◆2011 年 第 35 週（8/29～ 9/4）の感染症発生動向（届出数）

■全数把握感染症の発生状況

第 33 週 2 類感染症 結核 3 名（70 代 女 1 名、80 代 男 1 名・女 1 名）
5 類感染症 アメーバ赤痢 1 名（40 代 男）
第 34 週 2 類感染症 結核 2 名（70 代 男 1 名、80 代 女 1 名）
5 類感染症 梅毒 1 名（20 代 男）
第 35 週 2 類感染症 結核 1 名（80 代 男）の報告がありました。

■定点把握感染症の発生状況

- マイコプラズマ肺炎は、患者数が大幅に増えました。
- RS ウイルス感染症は、第 33 週から増加しており、第 35 週（9 月上旬）としては、過去 10 年で最も患者数が多くなりました。
- ヘルパンギーナは、全県では先週と同数でした。
- 流行性角結膜炎は、備中地域で感染症発生レベル 3 になりました。

【速報】第 36 週 腸管出血性大腸菌感染症 2 名（O115 20 代 女、O145 20 代 女）
の発生がありました。

1. **腸管出血性大腸菌感染症**は、9 月 2 名、今年 9 月 7 日までに 48 名の発生がありました。岡山県では**腸管出血性大腸菌感染症注意報**を発令し、感染予防を呼びかけています。
2. **マイコプラズマ肺炎**は、大幅に増加し（基幹定点 5 医療機関 定点あたり 3.20 人）、今年最も多い患者数になりました。特に倉敷市（定点あたり 12.00 人）で患者が増加しました。
マイコプラズマ肺炎については『**今週の注目感染症**』をご覧ください。
3. **RS ウイルス感染症**の定点あたり患者数は、第 33 週から増加し（定点あたり 0.09 → 0.13 → 0.20 人）、第 35 週（9 月上旬）としては、過去 10 年で最も患者数が多くなりました。
RS ウイルス感染症は、冬（11 月～1 月）に乳幼児の肺炎・細気管支炎などを起こす呼吸器感染症で、1 歳以下が流行の中心です。特に 6 ヶ月以下の乳児においては、重篤な症状を引き起こすことがあります。
県内の患者数はまだ少ないものの、近県の香川県（第 34 週定点あたり 2.00 人）や山口県（同 0.60 人）でも、例年より早い患者増加が報告されており、今後の動向に注意が必要です。
4. **ヘルパンギーナ**の定点あたり患者数は、全県では先週と同数でした（定点あたり 1.07 → 1.07 人）。ほとんどの地域で患者数は減少しましたが、岡山市（1.14 → 1.64 人）では増加しました。
ヘルパンギーナは、6 月～7 月にかけて発生がピークになり、8 月に減少し、9 月～10 月にはほとんど見られなくなると言われていますが、今年は同時期の過去 10 年平均（0.66 人）に比べ、患者発生が多い状態です。
5. **手足口病・ヘルパンギーナ**は、前週と同数でしたが、近県の広島県・山口県・鳥取県・島根県の各感染症情報センター第 34 週週報によると、各県とも患者の再増加が報告されています。また、島根県では同週報で、今年一度手足口病に感染した患者が再び感染したという報告もあります（[島根県感染症情報センター](#)）
今後、再び患者の増加が懸念されますので、手洗い・うがいを励行し、感染予防に努めましょう。
6. **流行性角結膜炎**は、前週より減少しましたが（眼科定点 12 医療機関 定点あたり 1.50 → 1.17 人）、備中地域ではひきつづき患者が多く（定点あたり 7.00 人）、第 34 週から、大きな流行が継続しつつあると考えられる感染症発生レベル 3 がつづいています。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ			RSウイルス感染症		★
咽頭結膜熱		★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★
感染性胃腸炎		★★	水痘		★
手足口病		★	伝染性紅斑		★
突発性発疹		★★★	百日咳		
ヘルパンギーナ		★	流行性耳下腺炎		★★
急性出血性結膜炎			流行性角結膜炎		★★
細菌性髄膜炎			無菌性髄膜炎		
マイコプラズマ肺炎		★★★★	クラミジア肺炎		

【記号の説明】

前週からの推移：  2倍以上の減少  1.1～2倍未満の減少  1.1未満の増減

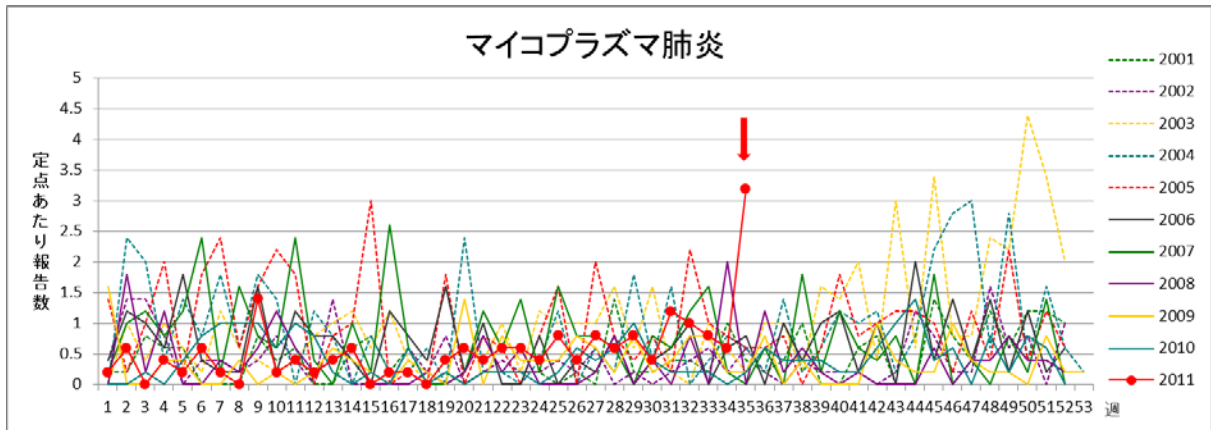
 1.1～2倍未満の増加  2倍以上の増加

流行状況： 空白 発生なし ★僅か ★★少し ★★★やや多い ★★★★多い ★★★★★非常に多い

※定点当たり患者数について、過去5年間の標準偏差値に感染症の種類毎に係数を乗じた値を5等分し、流行状況の目安として5段階で表示しています。

今週の注目感染症

1. マイコプラズマ肺炎

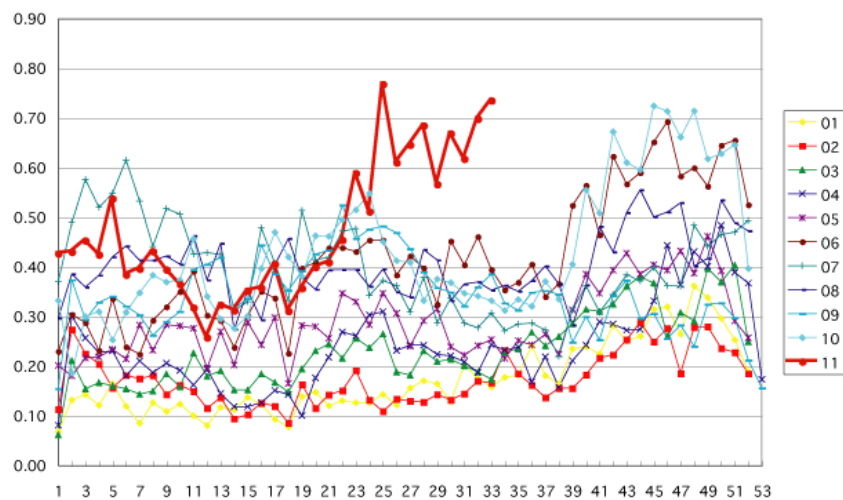


マイコプラズマ肺炎は、マイコプラズマという細菌により上気道炎、気管支炎、肺炎などの呼吸器感染症を引き起こし、頑固な乾性の咳が続くのが特徴です。肺炎球菌や他の細菌による細菌性肺炎は、乳幼児および 65 歳以上の高齢者に多発するのに対し、マイコプラズマ肺炎は、幼児・学童および青年に多いのが特徴です。通常予後は良好ですが、成人や高齢者においては重症化したり、髄膜炎・脳炎などの合併症を起こすことがありますので注意が必要です。

今年岡山県では、患者の少ない状態で推移していましたが、全国的には過去 5 年間の同時期と比較して、かなり多いという報告がされています。

今年岡山県では、患者の少ない状態で推移していましたが、全国的には過去 5 年間の同時期と比較して、かなり多いという報告がされています。

2011 年 全国のマイコプラズマ肺炎 過去 10 年との比較グラフ
（国立感染症情報センター HP より 第 33 週現在）



保健所別報告患者数 において **数字** は感染症マップにおいて レベル3
数字 は感染症マップにおいて レベル2 を示しています

保健所別報告患者数 2011年 35週 (2011/08/29～2011/09/04)

2011年9月7日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
RSウイルス感染症	11	0.20	7	0.50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	0.67
咽頭結膜熱	22	0.41	3	0.21	3	0.27	1	0.10	2	0.29	—	—	—	—	13	2.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	20	0.37	3	0.21	16	1.45	—	—	1	0.14	—	—	—	—	—	—
感染性胃腸炎	177	3.28	55	3.93	33	3.00	36	3.60	13	1.86	9	2.25	10	5.00	21	3.50
水痘	20	0.37	6	0.43	2	0.18	2	0.20	—	—	—	—	—	—	10	1.67
手足口病	67	1.24	22	1.57	1	0.09	21	2.10	8	1.14	1	0.25	3	1.50	11	1.83
伝染性紅斑	13	0.24	6	0.43	1	0.09	—	—	5	0.71	—	—	—	—	1	0.17
突発性発疹	38	0.70	19	1.36	4	0.36	6	0.60	5	0.71	—	—	1	0.50	3	0.50
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	58	1.07	23	1.64	15	1.36	5	0.50	7	1.00	2	0.50	2	1.00	4	0.67
流行性耳下腺炎	61	1.13	12	0.86	20	1.82	5	0.50	15	2.14	5	1.25	—	—	4	0.67
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	14	1.17	5	1.00	1	0.25	1	1.00	7	7.00	—	—	—	—	—	—
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	16	3.20	4	4.00	12	12.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(— : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2011年 35週 (2011/08/29～2011/09/04)

2011年9月7日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
咽頭結膜熱	22	0.41	3	0.21	3	0.27	1	0.10	2	0.29	—	—	—	—	13	2.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	20	0.37	3	0.21	16	1.45	—	—	1	0.14	—	—	—	—	—	—
感染性胃腸炎	177	3.28	55	3.93	33	3.00	36	3.60	13	1.86	9	2.25	10	5.00	21	3.50
水痘	20	0.37	6	0.43	2	0.18	2	0.20	—	—	—	—	—	—	10	1.67
手足口病	67	1.24	22	1.57	1	0.09	21	2.10	8	1.14	1	0.25	3	1.50	11	1.83
伝染性紅斑	13	0.24	6	0.43	1	0.09	—	—	5	0.71	—	—	—	—	1	0.17
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	58	1.07	23	1.64	15	1.36	5	0.50	7	1.00	2	0.50	2	1.00	4	0.67
流行性耳下腺炎	61	1.13	12	0.86	20	1.82	5	0.50	15	2.14	5	1.25	—	—	4	0.67
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	14	1.17	5	1.00	1	0.25	1	1.00	7	7.00	—	—	—	—	—	—

(— : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2011年 第35週 2011/08/29～2011/09/04)

疾病名	合計 -6ヶ月-12ヶ月			1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計 -6ヶ月-12ヶ月			1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	11	4	2	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	22	-	-	4	3	2	4	6	-	2	-	-	1	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	20	-	1	-	4	5	1	2	-	1	2	-	3	1	-
感染性胃腸炎	177	2	18	29	21	14	14	13	5	6	4	4	24	4	19
水痘	20	1	2	7	5	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	67	1	5	28	12	10	2	2	2	-	1	-	2	1	1
伝染性紅斑	13	-	1	3	1	2	1	2	3	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	38	3	21	13	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	58	1	6	17	15	9	4	2	1	2	1	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	61	-	2	-	8	10	10	6	3	5	4	4	7	1	1

疾病名	合計 -6ヶ月-12ヶ月			1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	14	-	-	2	2	1	-	-	-	-	-	1	-	-	3	3	1	-	1	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	16	-	3	7	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

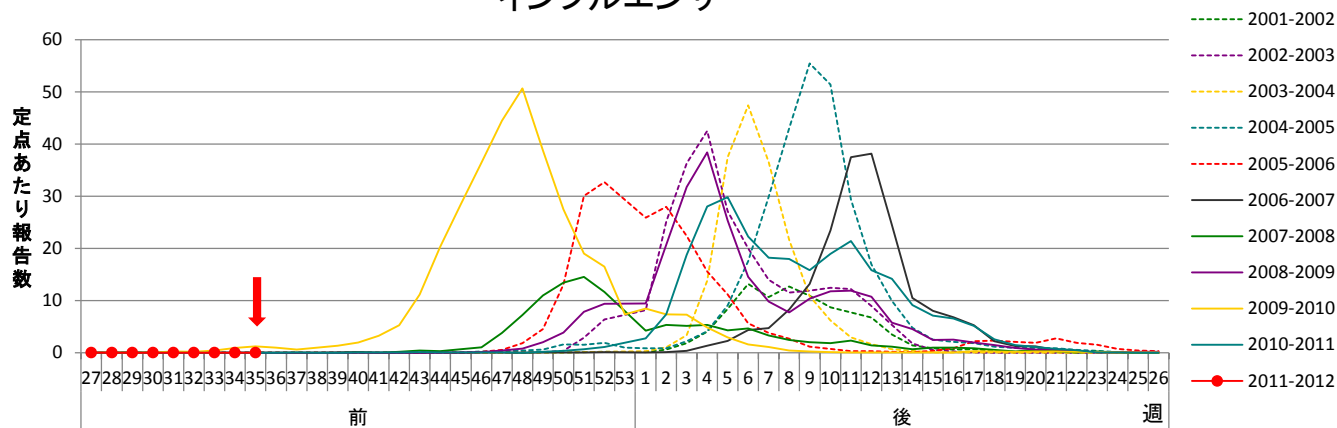
(- : 0)

全数把握 感染症患者発生状況

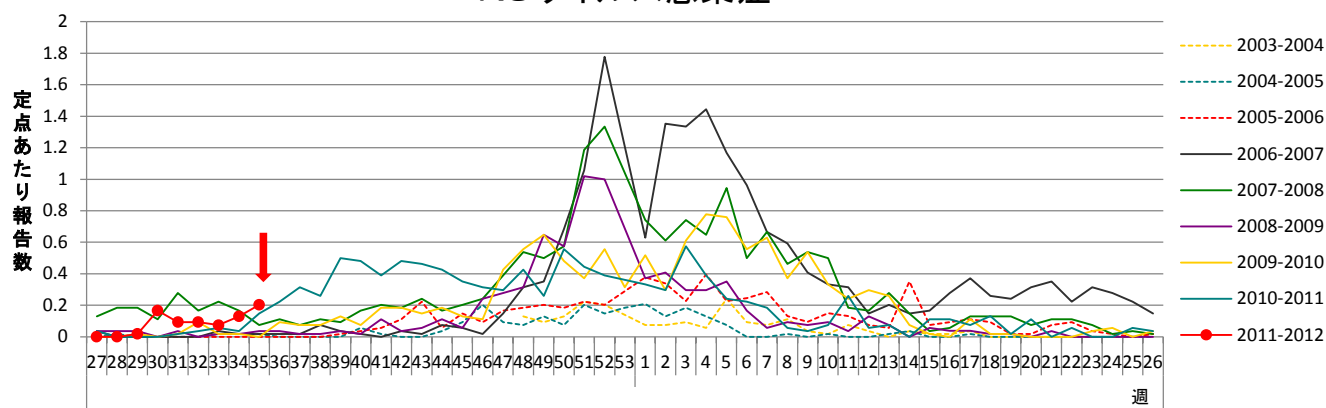
2011 年 35 週

分類	疾病名	2011			2010	2011	2010	2011	2010	2011	2010
		今週	累計	昨年		今週	累計	今週	累計	今週	累計
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱 ペスト	-	-	-	痘そう マールブルグ病	-	-
	南米出血熱	-	-	-		-	-	-		-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核 鳥インフルエンザ(H5N1)	1	321	352	ジフテリア	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-		-	-	-		-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢 パラチフス	-	-	-	腸管出血性大腸菌感染症	-	36
	腸チフス	-	-	-		-	-	-		-	-
四類	E型肝炎	-	1	-	ウエストナイル熱 黄熱 回帰熱 狂犬病 腎症候性出血熱 炭疽 デング熱 ニパウイルス感染症 ハンタウイルス肺症候群 ブルセラ症 発しんチフス 野兎病 リフトバレー熱 レプトスピラ症	-	-	-	A型肝炎 オウム病 キャサヌル森林病 コクシジオイデス症 西部ウマ脳炎 チクングニア熱 東部ウマ脳炎 日本脳炎 Bウイルス病 ベネズエラウマ脳炎 ボツリヌス症 ライム病 類鼻疽 ロッキー山紅斑熱	-	3
	エキノкокクス症	-	-	-		-	-	-		-	-
	オムスク出血熱	-	-	-		-	-	-		-	-
	Q熱	-	-	-		-	-	-		-	-
	サル痘	-	-	-		-	-	-		-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-		-	-	-		-	-
	つつが虫病	-	2	1		-	-	7		-	-
	鳥インフルエンザ	-	-	-		-	-	-		-	-
	日本紅斑熱	-	1	-		-	-	-		-	-
	鼻疽	-	-	-		-	-	-		-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-		-	-	-		-	1
	マラリア	-	-	-		-	-	-		-	-
	リッサウイルス感染症	-	-	-		-	-	-		-	-
	レジオネラ症	-	12	19		-	-	-		-	-
五類	アメーバ赤痢	-	8	13	ウイルス性肝炎*3 クロイツフェルト・ヤコブ病 ジアルジア症 梅毒 バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	6	7	急性脳炎*4 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 髄膜炎菌性髄膜炎 破傷風 風しん	-	1
	クリプトスポリジウム症	-	-	-		-	1	2		-	1
	後天性免疫不全症候群	-	9	22		-	2	5		-	-
	先天性風しん症候群	-	-	-		-	8	9		-	1
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-		-	-	3		-	-
	麻しん	-	4	3		-	-	-		-	-

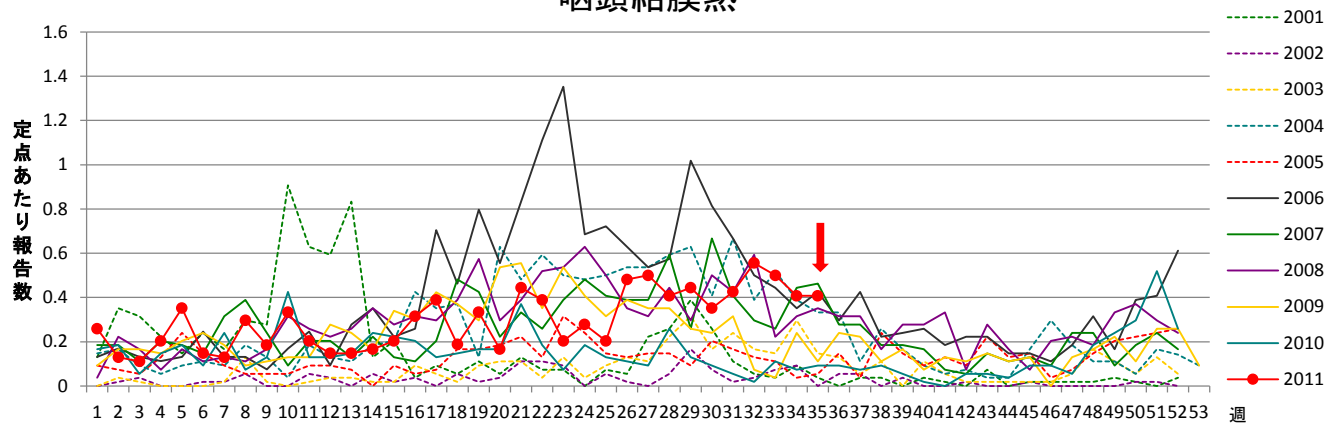
インフルエンザ



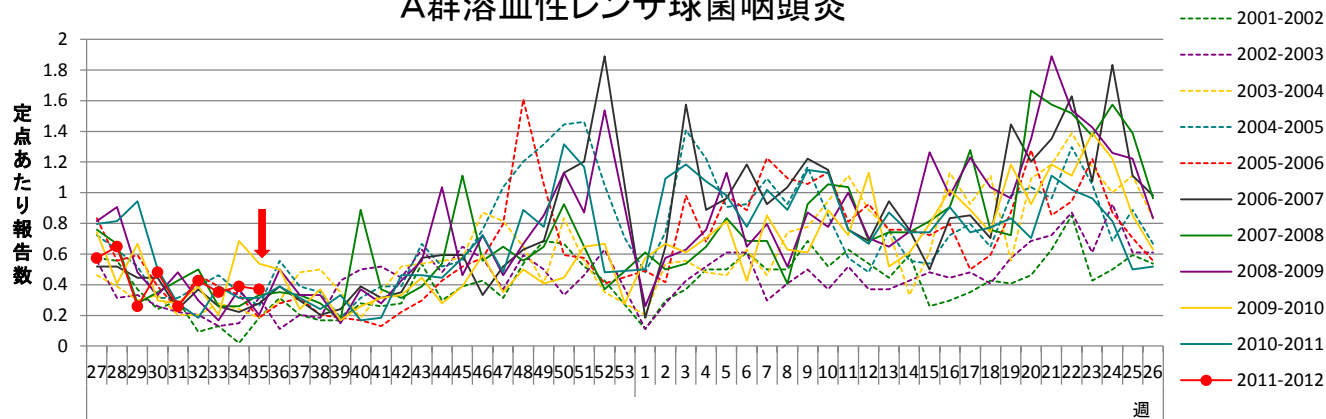
RSウイルス感染症



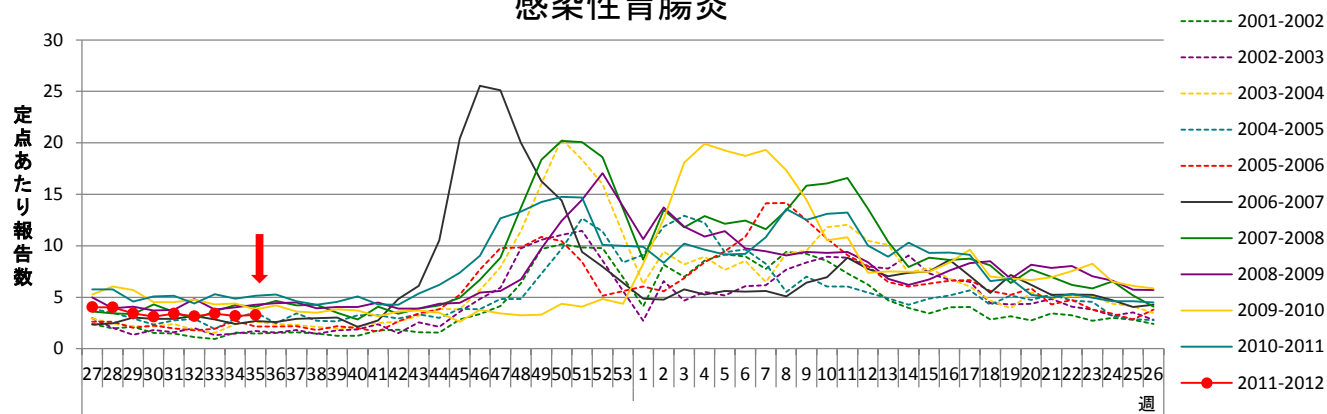
咽頭結膜熱



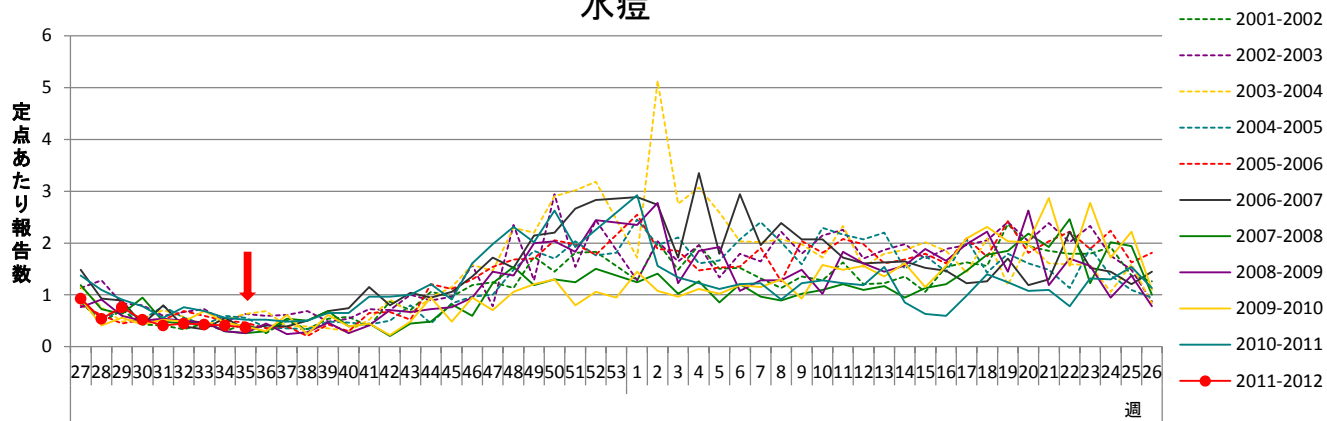
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



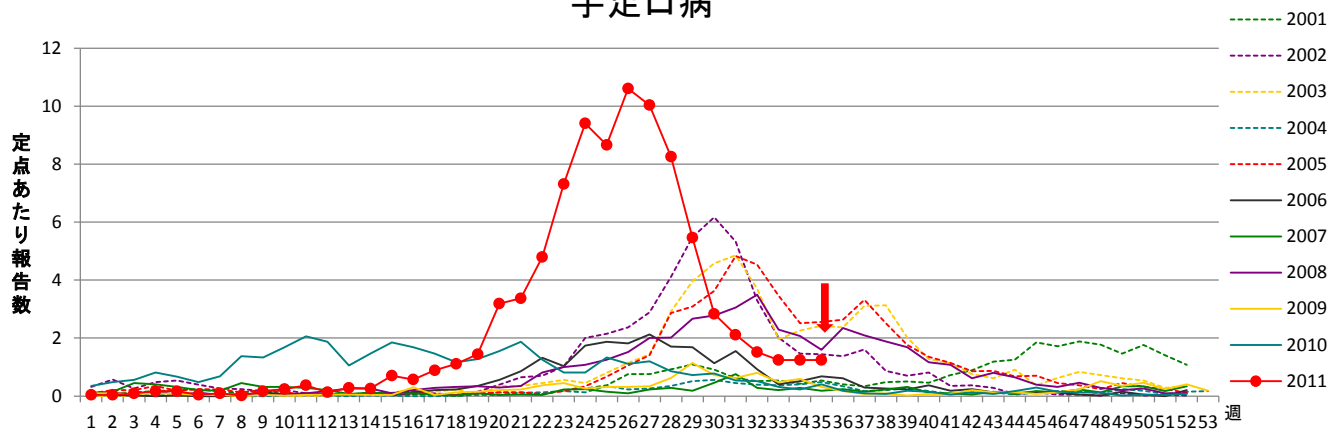
感染性胃腸炎



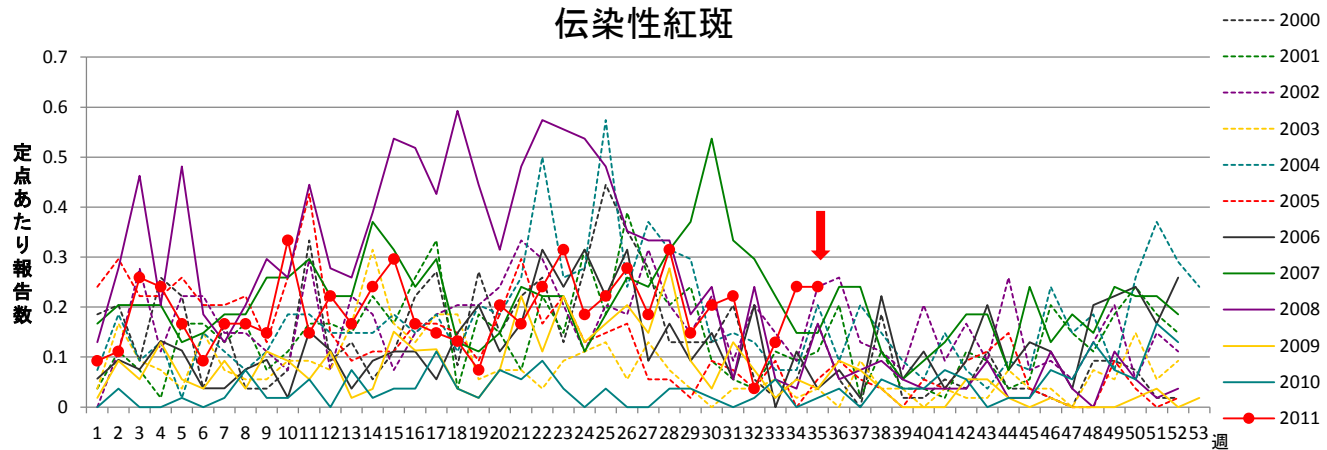
水痘



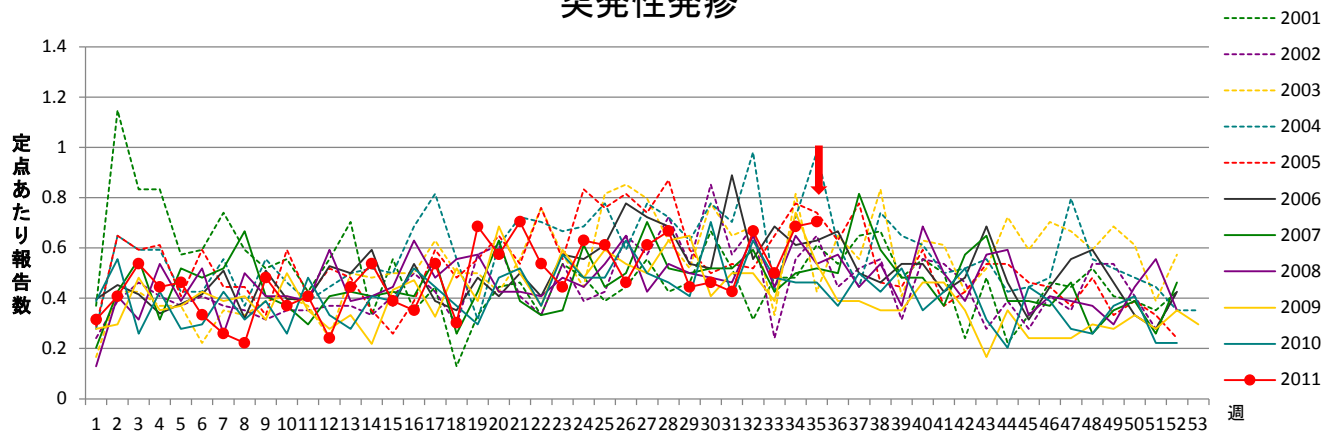
手足口病



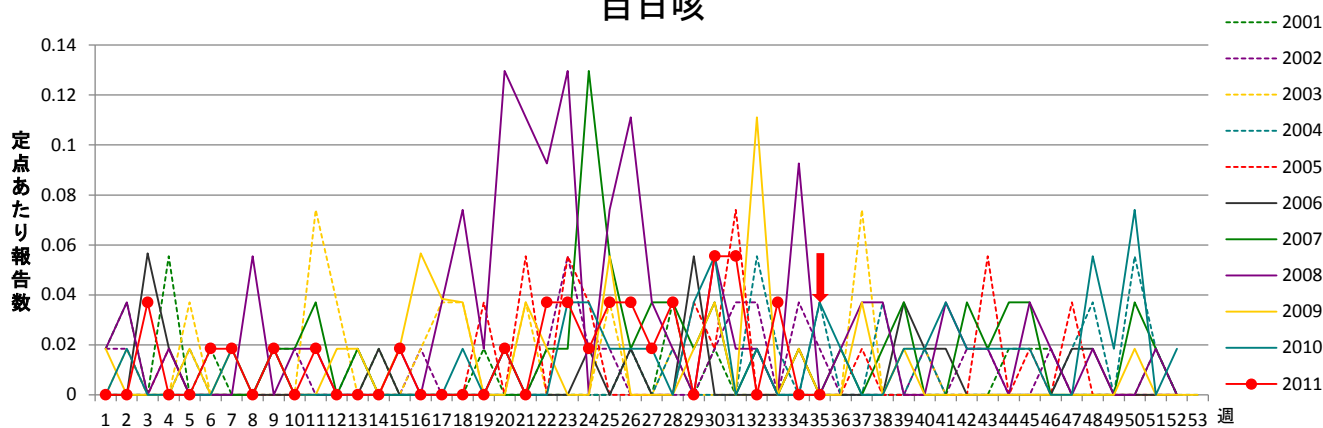
伝染性紅斑



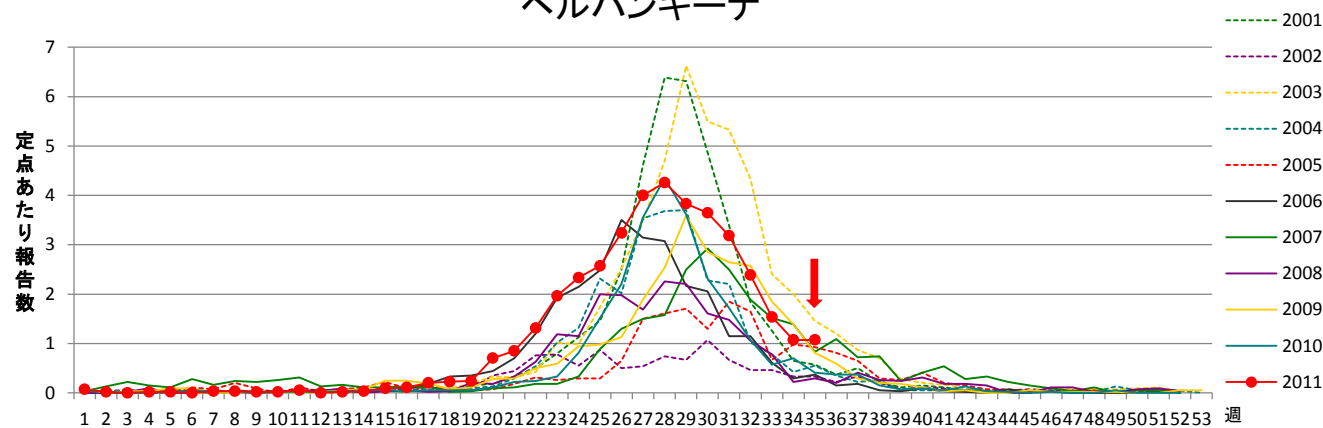
突発性発疹



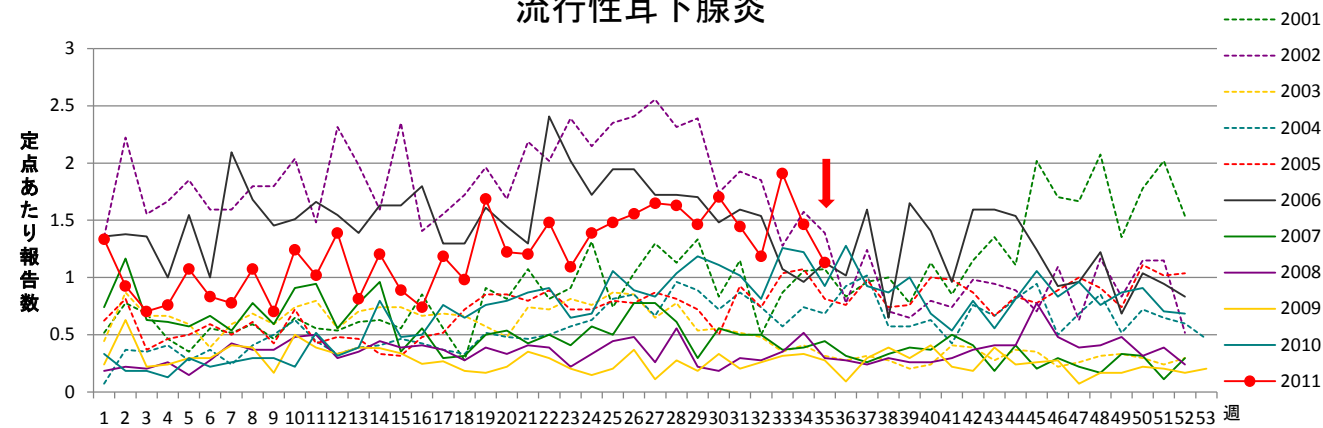
百日咳



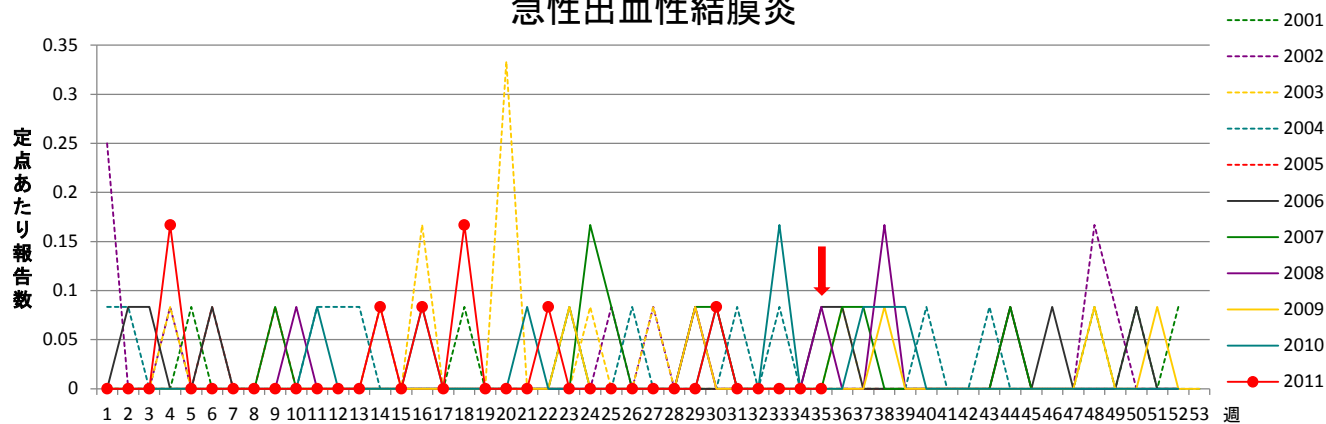
ヘルパンギーナ



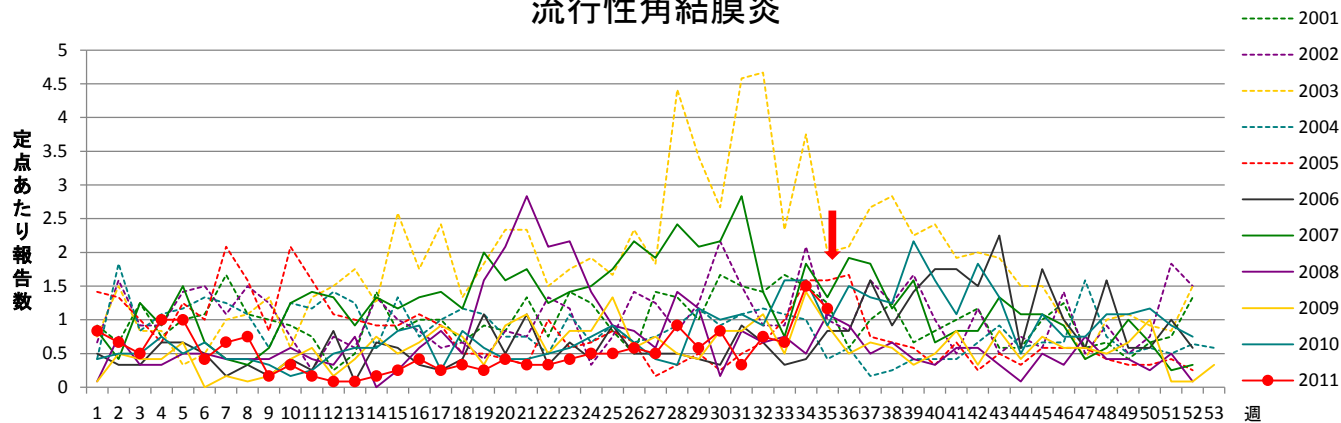
流行性耳下腺炎



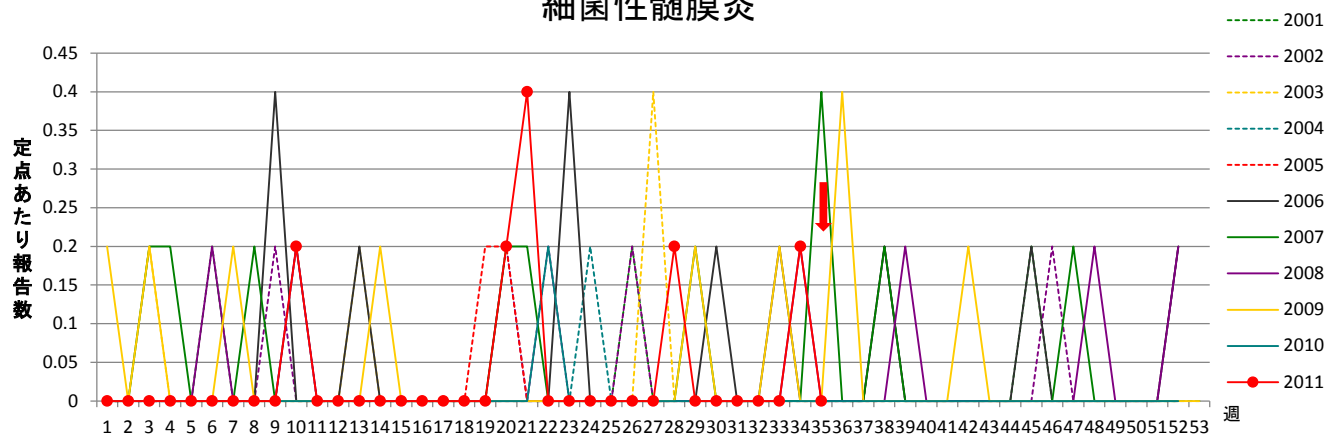
急性出血性結膜炎



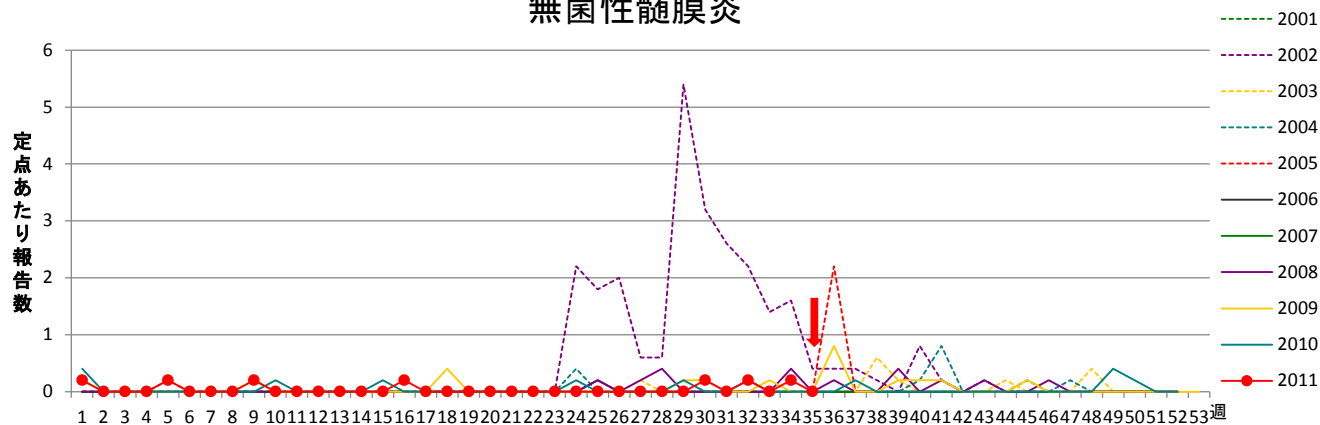
流行性角結膜炎



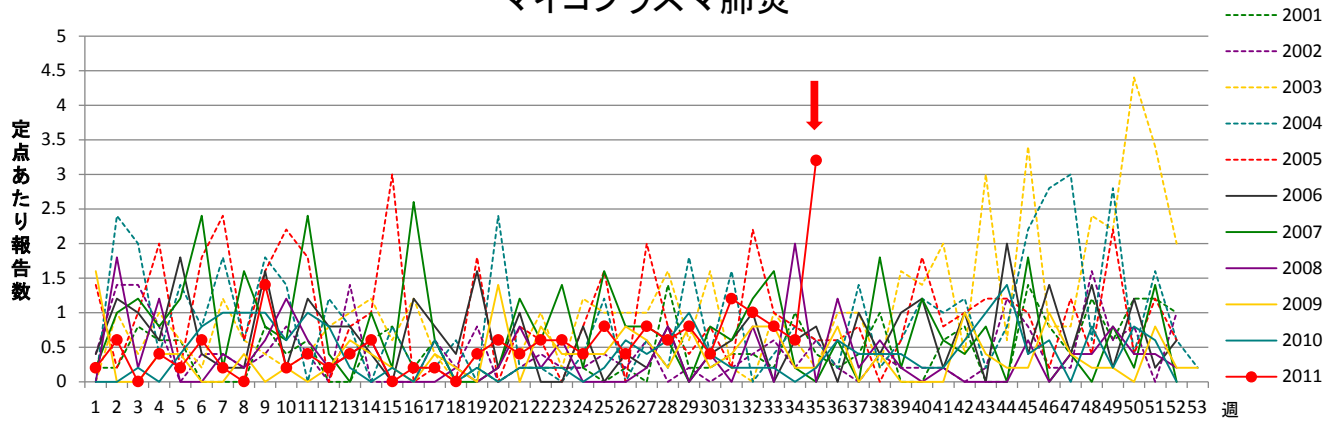
細菌性髄膜炎



無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎

